

令和7年度 親子農業体験教室実施結果

1 広報の方法

- ・小学校全校児童へのチラシ配付（明石市）、小学校への掲示（神戸市）
- ・県下図書館や公民館等でチラシ配布
- ・SNS（LINE@）による情報発信
- ・兵庫楽農生活センターホームページへの掲載
- ・兵庫楽農生活センターでチラシ配布

2 応募および参加の状況

(1) 応募数と参加家族数の推移

年 度		R 7	R 6	R 5	R 4
募集期間		3/17～4/25 (抽選方式)	3/29～4/25 (抽選方式)	3/30～4/25 (抽選方式)	3/18～4/25 (抽選方式)
お米づくり コース	応募家族数	167 家族	186 家族	145 家族	177 家族
	参加家族数	100 家族 (380 名)	121 家族 (447 名)	100 家族(362 名)	50 家族 (177 名)
黒枝豆 づくりコース	応募家族数	17 家族(※)	78 家族	64 家族	79 家族
	参加家族数	40 家族 (144 名)	40 家族 (145 名)	40 家族 (147 名)	30 家族 (93 名)

※応募家族数は、各コースの専願および第1希望の家族数の合計としている。R7枝豆コースについてはこの数え方による17家族に加え、第2希望の家族(44 家族)から当選させた。

(2) 地域別参加家族数

	R 7			R6	R5	R4		R7			R6	R5	R4
	米	豆	計					米	豆	計			
神戸市垂水区	13	4	17	14	21	10	姫路市	4	-	4	1	1	-
西区	14	6	20	20	8	8	太子町	-	-	0	-	1	-
東灘区	16	4	20	7	13	8	西宮市	5	-	5	5	1	1
須磨区	9	3	12	10	5	6	芦屋市	2	-	2	3	3	2
灘区	4	6	10	7	5	5	伊丹市	2	-	2	2	1	-
中央区	3	4	7	6	5	2	尼崎市	2	-	2	1	2	-
長田区	1	-	1	2	1	-	宝塚市	3	1	4	2	2	-
兵庫区	-	1	1	1	3	2	播磨町	-	-	0	-	1	-
北区	3	1	4	0	1	1	稲美町	-	-	0	-	1	-
神戸市計	63	29	92	67	62	42	赤穂市	-	1	1	1	-	-
明石市	15	7	22	77	62	32	三田市	1	-	1			
加古川市	3	2	5	1	5	2	計	100	40	140	161	140	80
小野市	-	-	0	1	-	-							
三木市	-	-	0	-	-	1							

3 実施状況

(1) お米づくりコース

指導体制：8班体制（インストラクター13名＋地元農会長会5～16名）

・第1回 「田植え」

6月14日（土） 86家族



・第2回 「除草・いきもの観察」

7月12日（土） 85家族



・第3回 「お米の花の観察」

8月23日（土） 46家族



・第4回 「稲刈り」

10月11日（土） 87家族



・第5回 「飯ごう炊さん・収穫祭」 10月25日（土） 91家族



(2) 黒枝豆づくりコース 指導体制：4班体制（インストラクター8名）

- ・第1回 「豆づくりのお話・苗植え」
6月28日（土） 36家族



- ・第2回 「土寄せ・生きもの観察」
7月26日（土） 34家族



- ・第3回 「枝豆の初収穫」
10月11日（土）～19日（日）
計30家族



- ・第4回 「枝豆収穫」
10月25日（土）～11月3日（月・祝）
計35家族



- ・第5回 「黒豆入り飯ごう炊さん」
11月15日（土） 28家族



4 参加者の感想

(1) お米づくりコース

【貴重な体験】

- ・普段都会では体験できない田植え・稲刈りを子どもに経験させることができ良かった。始めは田んぼに入るのも嫌がっていたが徐々に慣れて楽しめた。
- ・収穫だけの体験は割と多くのところではあるが、苗の植えつけから体験できたことで、農作業・農業への見方・解像度・感謝がぐっと深まり、良い体験になった。
- ・子どもたちの学校での、社会や環境といった机上の学習と体験がつながってとても良かった。
- ・息子がコウノトリ育む農法に興味を持ち、参加した。米の価格も高騰している中でとても良い体験をさせてもらった。大人も子供も勉強になった。
- ・子どもたちがどろどろになりながらも楽しそうに植える姿を見て、親としても良い経験になった。稲刈りも最初は上手くできず難しそうだったが、どんどん上手になり成長も感じた。お米作りの過程を体験し、お米をもっと好きになってくれると嬉しい。
- ・家でスマホを見るだけではできない素敵な体験で、娘も楽しそうとても良い顔をしていた。自分も童心に返って泥の感触・虫取り・稲の生長を楽しむことができた。
- ・稲刈りや飯盒炊爨の時など、子どもたちが自ら進んで作業する様子を見ることができよかった。

【スタッフの対応】

- ・講師の方が優しく、説明も分かり易く笑顔で癒された。やわらかい印象で安心して受講できた。
- ・毎回体験前にインストラクターから教えて頂くお話が、子どもの学校での自主学习などにとっても役立ちありがたかった。米や生き物のこと、何を質問しても皆丁寧に教えて下さり、次世代に受け継ぐべき貴重な知識だと思った。

【食育について】

- ・あまりお米を食べない娘がたくさん食べてくれたので、参加して良かった。
- ・子どもが落ちている稲穂を「もったいない」と拾う姿を見て、やはり自分で植えた稲だからこそ、お米1粒1粒の大事さが分かるのだな、と感じた。
- ・子どもがお米に興味を持ってくれて、普段食べているお米の栽培について「農家の人は大変なんだな」と感想として出てきたのが印象に残っている。
- ・手元に来る「お米」の成り立ちや農家さんの苦勞を、子どもたちに一連の流れとして見せることができたのはとても良かった。
- ・いつも食べているご飯が、長い時間と携わる人々の大変な手間をかけてようやく食べられるようになるということ、「食べ物（命）を頂いている」という感覚を子どもに掴んで欲しかったので、本当に良い体験だった。
- ・稲刈り後から、茶碗についた米粒をきれいに食べるようになった。今回の体験で米づくりの大変さと、米の大事さを感じてくれたからだと思う。

【お米づくりについて】

- ・普段当たり前で頂いているごはんを食べるまでこれほどの苦勞があることを、親子共に知ることができた。それぞれの作業を根気強くやり、それが月日をかけて実っていくこと、また面白さのある面を子どもが知ることができたのも良かった。
- ・田植えや手刈りを初めて体験し、作業の大変さが分かった。コンバインなど機械による作業が時間の短縮・作業効率化につながることを実感した。
- ・収穫時、手刈りと機械で刈る効率を比較してその速さの違いや性能に驚き、毎日食べているお米のありがたみを感じた。
- ・田んぼの泥の中があんなに動きにくいとは驚きだった。雑草抜きも大変だったが、皆で足並みそろえて「せーの」で植えるのがとても楽しかった。1列植えるだけでも重労働で、子どもは「昔の人はすごいなあ、機械化バンザイ！」と言っていた。

【いきもの観察】

- ・街中の生活では自然の中のカエルなどと触れ合う機会は中々無く、夢中になって楽しんでた。
- ・田んぼの中に入って生き物を探すことのできる機会は初めてで、とても楽しかった。
- ・自分の家の周りでは見つけられない、様々な虫を見つめることができ、自然の素晴らしさを楽しく体験できた。
- ・図鑑でしか見ることのできなかつた虫を実際に見ることができ、子どもたちにも良い体験になった。こういう機会が現在は減ってきているので、これからも続けて欲しい。

【お米の花の観察について】

- ・田んぼではあまり花が見られず残念だったが、穂を分解しての未熟な花の観察が面白かった。株をもらったので家で花の観察に挑戦してみたい。
- ・稲の花をはじめて見ることができた。水分の量が想像より多く、出穂期に水が大切という事を実感した。
- ・お米の花がどんなものか知れて良かった。すごく身近な米なのに花も見ることがなかったと気付けた。
- ・茎の中に穂ができることを初めて知った。実際に茎の中を見せてもらうことができ、貴重な体験になった。
- ・理科で学習中の単子葉植物の花を知ることができ、貴重な体験となった。

【コウノトリのおはなし】

- ・人間と自然動物との共生の大切さを学ぶことができた。
- ・少し難しかったが、小学校の社会でも学習するので勉強になった。
- ・コウノトリを通し、自然を大切にしたいなという気持ちになった。

【運営について】

- ・大人の自分たちにとっても、農業に関わっている指導スタッフならではの色々なお話し等伺えて勉強になった。毎回沢山準備していただき感謝している、ぜひ今後も続けて欲しい。
- ・米についてだけでなく、トラクターに乗ったり、いきもの観察ができたりして、大人も子供のころに戻るほど楽しかった。毎回準備なども大変だったと思うが、スタッフの方には優しく親切に指導していただき、親子で楽しい時間を過ごさせてもらい、本当にありがたかった。
- ・少しではあるが、一連の米作りの作業を体験することで農業の大変さ、自然の大切さ、楽しさを知ることができたように思う。きっかけは子どもの「田植えをしてみたい」という言葉だったが、最後には親も楽しんで、勉強になった。
- ・半年に渡る体験の管理・運営や調整ありがとうございました。体験もいつも同じメンバー・講師なので次第に仲良くなれて良かった。
- ・暑い時期、テントのおかげで休みつつ作業ができた。熱中症対策で短い時間なのもありがたかった。
- ・毎回配布される資料も細かく分かり易くてとても勉強になった。
- ・自然に触れ、普段の生活では経験できないことを体験し、子供も楽しく「食」や「農」について学ぶことができた。他の体験イベントにも参加してみたい。

(2) 黒枝豆づくりコース

- ・ 苗の植え方、向きやコツなど詳しく教えていただき、とても勉強になった。
- ・ 初めてだったが、分かり易い説明で迷うことなく楽しく作業できた。
- ・ 暑い中、農家の人はもっとたくさん量を少ない人数で作業するというのが凄いなと思った。
- ・ 子どもが体験するのにちょうどよい内容で楽しかった。
- ・ 土が固く掘るのが難しかったが、大きくなるのが楽しみ。
- ・ 作業中、虫がたくさん出てきて、子どもが怖がったり楽しそうに観察したり、いつもは見られないものを見ることができ、良い体験ができた。
- ・ 土寄せは土が固くてほぐしにくかったが、枝豆が立派に成長しており収穫が楽しみだ。
- ・ 思っていたより大きな雑草もあり驚いた。雑草抜きも土寄せも日常でする機会がないので、子どもも大人もとても楽しんだ。
- ・ 少し倒れている箇所ときちんと立っている箇所があり、土寄せの必要性を学ぶことができた。
- ・ 田んぼに一目で分かるほど沢山のいきものがおり、田んぼの世界は面白そうだなと思った。
- ・ 子どもがカエルに触れるようになって驚いた。
- ・ 最初は田んぼで泥まみれになるのを嫌がっていたが、次第に楽しんでおり成長を感じた。
- ・ 2回目に収穫した枝豆の方が好みで、家でおいしく頂いた。飯盒炊爨でも枝豆にほのかな甘みがあり、美味しかった。
- ・ 空気・天気の良い野外で食べるご飯は美味しく、4合ペロリと食べることができた。
- ・ 以前より子どもたちが積極的に手伝っており、成長を感じた。火おこし等色々と教えて頂き感謝している。
- ・ 飯盒炊爨の進行スピードがそれぞれ違ったが、その都度教えてもらえたので分かり易かった。
- ・ 普段お米を食べない4歳の娘が「おかわり！」と何回も言って、4合もみんなで食べることができた。普段できない体験ができ、とても良い時間だった。
- ・ 火おこしが難しかったが楽しかった。おいしい新米と枝豆を、美味しく頂けた。